

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		グリーン調達ガイドラインを制定して運用している。 環境負荷物質低減の取組みを推進し、廃棄物については、産業廃棄物処理法に則った廃棄業者の産業廃棄物マニフェストに従って処理している。 2024年度に「こて先リサイクル」活動を開始。お客様に販売した使用済みこて先をお客様から回収し、こて先で使用する銅を次のこて先製作で使う「サーキュラーエコノミー」を企画し、現在2回目を実施中。社内だけでなく、社外にもSDGsの取組みをアピールしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		九州電力より「電気ご利用明細」を基に、拠点の電力使用量を把握しており、本登録に際し重点的な取組みとして掲げ、節電を取り組む。またエネルギー使用量削減の取組みとして、極低電力製品や消費電力の見える化の製品開発に取り組んでいる。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		九州電力より「電気ご利用明細」を基に、CO2排出量を把握しており、本登録に際し重点的な取組みとして掲げ、温室効果ガス排出量削減の取組みとして、節電をはじめ、クールビズ、ペーパーレス化、バス通勤の推奨、グリーン購入に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		グリーン調達ガイドラインを制定し、サプライヤへ展開している。 環境負荷物質低減の取組みをサプライヤに展開している。 自社製造工程においても監視している。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・こみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 項目22.「こて先リサイクル」の取組みを実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・給湯室に「節水」のラベルを貼るなどして節水に努めている。 ・給湯室の水道を分岐して節水に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン調達(EU RoHS)の取組みにて、有害物質を含有している部品などの無駄な購入をしないように部品選定している。 3R、低消費電力を考慮した製品の開発に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			PETの分別回収をしている。 プラカップを紙コップに変更している。 木製のマドラーを使用している。											12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			自社の社用車の半分は電気自動車を導入している。 社員へはバス通勤の利用を促進している。									9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

